

採案  
用内

東 北  
防衛省

防 衛 局



「観点のバ  
部・調達部  
ンフレッ  
事務官・技  
方、伝  
紹介数  
力の

③

# 職務紹介

防衛事務官は、自衛官を除く防衛省職員の過半数を占める職員であり、国家公務員採用一般職試験の試験区分「行政」（大卒）、「事務」（高卒）から採用されています。東北防衛局では主として、総務部と企画部に防衛事務官が多く配属されています。

# 防衛事務官



私は、企画部の地方調整課で「地方協力確保事務」という仕事をしています。地方協力確保事務とは、防衛政策について地方公共団体や地域の皆様から広く理解と協力を得るために行う仕事で、私は防衛白書説明と日米交流事業を主に担当しています。

防衛白書説明とは、毎年発行される防衛白書の内容について、東北地方のすべての県と市町村に説明に向くもので、私は日程調整などを行っています。日米交流事業は、青森県に駐留する米軍人及びその家族等と地域住民がスポーツや料理等を通して交流を深めるイベントで、毎年好評を得ています。

対外的な調整が多く、大変なこともあります。防衛省・米軍と地域をつなぐ地方防衛局ならではの仕事で、日々やりがいを感じています。



企画部 地方調整課  
協力確保係 H25行政 採用  
鹿嶋 文

# 防衛技官



調達部 土木課  
土木第5係 H27土木 採用  
村上 大介

私は主に工事監督の業務を行っています。工事監督の業務内容は、自衛隊施設内の工事が防衛省の基準に則って正しく施工されているかを監督するものです。工事の基準は、防衛省独自のものがあるため他省庁の基準を満たしていても、防衛省の基準に適合していない場合もあります。

業務の具体的な内容は、施工業者が工事に使用する材料が「防衛省の基準を満たしているか」の確認や施工業者から図面と現場の相違についての問い合わせが来た場合、それに対する指示等の対応を行っています。質問の内容が分からなかった場合は、上司に相談をして当日中に回答するように心がけています。



防衛技官は、全国の地方防衛局内で約4割を占め、事務官と双璧を成す職員であり、国家公務員採用一般職試験の試験区分「建築・土木・機械・電気電子情報」等（大卒）、「技術」（高卒）から採用され、東北防衛局では主に調達部に配属されています。

## 総務部

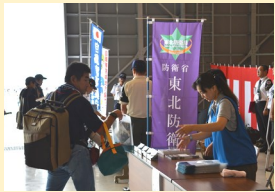
総務課、会計課及び契約課から構成されており、局内の総合調整、職員人事、給与、福利厚生、文書管理、広報、会計、物品管理、入札及び契約等に関する業務を行っています。人事や会計など各セクションにおいて局全体をバックアップしています。

## 企画部

地方調整課、周辺環境整備課、防音対策課、業務課、施設補償課、施設管理課及び施設取得課から構成されています。

(主な業務)

1. **地元調整** 自衛隊及び在日米軍の訓練や、新たな装備の配備等に関する地方公共団体・地域住民への説明。
2. **協力確保** 広く防衛政策について理解と協力を得るため、政策広報・防衛セミナー・日米交流事業などの企画立案・実施。
3. **施設の取得・管理** 新たな土地等の取得、防衛施設の管理。
4. **周辺対策・補償** 騒音などの障害を軽減する基地周辺対策業務や訓練に伴い発生する損失などの補償。
5. **訓練支援** 在日米軍が実施する訓練等に対する支援。



## 調達部

調達計画課、建築課、土木課、設備課から構成されており、自衛隊施設及び在日米軍施設の建設工事に従事しています。

(主な業務)

1. **計画調整** 建設工事に係る予算の調整や施設の使用である自衛隊及び在日米軍との調整、工事発注計画の作成及び工事に伴う地元調整、工事全般の総合調整。
2. **建築** 主に飛行場、港湾施設、病院、庁舎、隊舎などの建物の建築に関する調査、設計、積算、工事の監督および検査に関する業務。
3. **土木** 主に施設の整備に係る土木工事の実施、建物建設に伴う外構工事(敷地造成、道路舗装、給排水、環境整備工事など)に関する業務。
4. **設備** 主に施設の整備に係る電気設備(照明、電力、飛行場の航空灯火設備など)、機械設備(空調、エレベーター、給排水衛生設備など)及び通信設備(電話、LAN、放送設備など)の工事に関する業務。

# 東北防衛局 新規採用職員研修



## ●新規採用職員を対象とした研修の種類

防衛省合同初任者研修

東北防衛局新規採用職員研修

駐屯地部隊研修

採用された新入職員は防衛省合同初任者研修及び東北防衛局新規採用職員研修に参加します。

東北防衛局新規職員研修では、同局の概況などに関する講義が数日間にわたって行われ、東北防衛局職員として必要な業務遂行上の基礎知識等を習得し、併せて一体感を培うことを目的としています。



東北防衛局では、平成27年度から「部隊の訓練等を自らで体験し、自衛隊の理解を深める」等の目的の下、陸上自衛隊の駐屯地での体験入隊研修を実施しています。平成28年度は、多賀城駐屯地にて2泊3日で基本教練や20km行進、体力検定などが行われました。

# 三者三様

世代や立場、仕事も異なる三者に聞く、東北防衛局とは、若手職員に期待することとは。



竹谷 耕治  
Kouji Taketani

総務部 総務課 課長補佐

## 印象に残っている仕事とは

今から約10年前、私は南関東防衛局から米軍と自衛隊が飛行場を共同使用する海上自衛隊厚木航空基地に出向し、基地の財産管理業務を行っていました。ある時、米軍パイロットから滑走路南側から100m程離れた場所にある航空機の安全上、問題となる木を伐採できないか相談を受けました。

基地内の自衛隊管理区域であれば、部隊の仲間達と木を切りに行くのですが、基地の外となるとまず誰の土地なのか確認しなくてはなりません。現場を確認したところ、問題となる木は南関東防衛局が管理する緑化緩衝地帯にあることが判明しました。これを受け、私から南関東防衛局の職員に対応を依頼したところ、ほんの数週間問題となる木を全て剪定していただくことができました。

航空機の安全が確保されたことから飛行場を使用する日米のパイロットからもとても感謝され、地域住民の方からも美観に配慮した剪定を褒められました。このように、米軍や自衛隊と地元との調整を図るために柔軟かつ迅速な対応ができる地方防衛局の業務をとっても誇らしく感じたことを覚えています。

## 東北防衛局の印象

東北防衛局の職員は地元を愛する気持ちが高く、米軍人とともに基地周辺のボランティア活動に参加するなど、基地行政に関する問題について、地元の方々の理解と信頼を得ようと努力する意識が強いところが、東北防衛局の魅力かと思っています。

また、東北防衛局では芋煮会やボウリング大会など局全体で行う行事が多く、職員間の結束が固いのも魅力の一つだと思います。

## 「今日の竹谷」とは？



8月から9月にかけて約1ヶ月間更新を怠ってしまいました。途中怠った結果が8月29日のリバウンドに現れています。9月21日に下がったのはお昼に走ったのと夜に仙台駅まで歩いていることで、少し戻りましたが、ほぼ開始当初の水準に逆戻りしてしまいました。私は上記の写真のとおり生まれた時から肥満で、太り易い遺伝子を持っているようです。毎日こつこつトレーニングしないと戻せられないので、怠けることのないよう頑張ります。次回からトレーニング回数・内容など表示するようにしたいと思いますので、引き続き応援よろしくお願いします。

今日の竹谷とは、竹谷補佐が独自に行っている自身のダイエット記録です。健康管理実践者と非実践者の二分化に問題意識を持ち、局内で閲覧できる部内系ホームページで不定期更新しています。体重などのステータスだけでなく、うんちくやユーモアを交えた所見が局内で密かな人気を博しています。

## 入省後に感じたこと

入省1年目は、学びの年であったと思います。技術面と行政面の両方ともが初めてのことはばかりでしたが、じっくり調べる時間もとれました。

また、幸いなことに先輩・上司に恵まれましたので、ご指導いただきながら多くのことを学ばせていただきました。その中で、社会人として、期限の厳守や責任が伴うという点は強く感じました。また、抱えている仕事の量・質について、自分なりの判断基準を養い、メリハリをつけることが重要だと思いました。



角卓哉

Takuya Sumi

調達部 設備課 設備第6係

## 若手から見た東北防衛局

所属課内は年齢が近い職員も多く、互いに切磋琢磨できる環境です。上司からも時に厳しく、時に優しく指導をいただくなど支援環境が整っています。

仕事上、他の課の職員と接する機会も多くありますが、お互いに助け合っただけで円滑に仕事が進むような関係が構築されています。また、東北防衛局はサークル活動も盛んなので、そういった活動を通して他課との交流も図られている点も、局全体としていい関係を築ける一因となっているかと思っています。

## 採用面接官として

平成27年度に、初めて採用面接官をしました。東北防衛局職員として、相応しい人間であるか、また社会人として対応できる人間であるかなど、短い時間で判断しなければならず、非常に責任ある仕事でした。

社会人となれば、一人で仕事をするのではなく、組織としてチームで仕上げていくものです。面接では、組織の中に溶け込める人間であるか、周りの者と協調してやっていける人間のかなどを答え方や対応の仕方から判断していました。

## 若い職員、できていますか？

私が社会人1年目の時に、自分がどのようなことを求められているのかなど考えたこともありませんでしたが、公務員生活30数年が経過した今、思うことは沢山あります。

1 点目は、健康に過「ず」ということ。20代、30代の時は良いのですが、年を取るにつれて体力は落ちてきます。長い間、心身共に健康でいられるよう心掛けてください。

2 点目は、「人に迷惑を掛けない、相手の気持ちになる」ということ。子供の頃、父親に常日頃から言われ続けました。これは、健康であることにも繋がりますが、急に病気で休まれると、その日に予定していたことができなくなる可能性があります。また、自分がされて嫌と思う行為や発言は、だいたい相手も嫌だと感じるでしょう。ですから、**相手の気持ちになつて行動や発言をする**よう気を付けなければなりません。

3 点目は、積極的に周りの人と会話をし、物事は早合点せず確認すること。意思疎通を確実にしないと、どこかでズレが生じます。

4 点目は、常識人であること。私たちが育ってきた環境と若い人が育ってきた環境が違うので、とらえ方が異なると思いますが、「人に迷惑を掛けない、相手の気持ちになる」にも繋がります。例えば、自分の不用な物をみんなが利用する道路や公園などに捨てますか？心ある人間になつて欲しいと思います。

5 点目は、耐えるということ。昔と今では様々なところで生活環境が大きく変わっています。携帯電話やスマートフォン、パソコンといった



# 木 成人

Naruhito Yagi

企画部 地方調整課長

## 休日の過ごし方 ストレスへの対処

今年も単身赴任2年目になり、仕事や生活にも慣れてきたので、できる限り出歩いています。先日は世界遺産の平泉に行ってきました。また、運動らしき運動をしていませんので、退職後も趣味として続けられるだろうと、マイボールとマイシューズを揃え、ボウリングを始めました。

ストレス解消法ですが、簡単に言うとストレスを溜めないことです。社会人ともなれば自分の思い通りに行かないことが当たり前のようにあります。例えば、上司から怒られるということは、「お前には期待しているのだからもつとしっかりしろ！」と言われていると思えば良いのではないのでしょうか。また、若い人は相談できる同僚や上司など**信頼できる人を見つけること**です。ストレスの解消にはいろいろな方法があると思います。私は、人に相談するのはもちろんですが、飲みに行ったりして逃避します。若い人と飲みに行つて若い人の意見も聞きたいのですが寂しいことに若い人は年寄りには近付かないのですよね(これもストレス?)。

最後に、長々と述べましたが、私自身が上司や部下の期待に応えられているのかという点必ずしもそうではありません。しかしながら、私のこれまでの経験からアドバイスできることとして述べさせていただきます。参考にしていただければ幸いです。防衛省という組織の一員として、他の職員に迷惑をかけないよう、残り少ない公務員生活を自分も努力していきたいと思えます。新しく社会人となられる方も頑張ってください。東北防衛局でお待ちしています。

## 次世代を担う 君たちに告ぐ。

情報通信機器の普及でもたらされた便利な世の中。この便利な環境に育つてきた若い人は、はたして我慢ということができているか疑問があります。全ての人ではないかもしれませんが、あらゆる**場面で耐える我慢**するということを身につけてほしいです。

最後に、山本五十六の名言で「やってみせて、言ってみせて、やらせてみて、ほめてやらねば人は動かじ」「話し合い、耳を傾け、承認し、任せてやらねば、人は育たず」「やっている、姿を感謝で見守つて、信頼せねば、人は実らず」というのがあります。この言葉は、上司から見た部下へのものですが、今の若い人が将来、このようなことを実行し、周りの人から信頼され、尊敬されるような人間になつて欲しいです。

あと、長くは語りませんが、**何事も過去を調べること**です。何故この業務が必要なのか、背景や経緯を調べると勉強になります。若い職員出来ていますか？



# 面目躍女

めんもくやくじょ

【意味】世間の評価にふさわしい活躍をして、いきいきとしていること。

防衛省では、男女共同参画社会の実現はもとより、我が国の経済社会の持続的発展という観点からも「女性の力」を最大限発揮させることを重視しており、「防衛省における女性職員活躍とワークライフバランス推進のための取組計画」を策定しています。東北防衛局においても、当局の実情を踏まえつつ、女性職員の活躍推進に向けた環境づくりに取り組んでいます。本コーナーでは局内で活躍する女性職員をピックアップし、インタビューしてみました！



企画部周辺環境整備課 障害防止第2係  
高橋 未希 係長



三沢防衛事務所 業務課 業務第2係  
工藤 優美 係長

## 現在のお仕事は？



私は平成16年度に採用され、主に企画部で用地取得や小学校等を対象とした防音工事に関する業務に携わりました。その後、本省へ異動となり、米側をカウンターパートに日米同盟の深化や特別協定の改定、米軍基地で働く従業員の労務管理業務などを経験してきました。

そして平成28年度に採用地である東北防衛局への異動が叶い、現在は基地を起因とする障害防止事業として、河川の改修に係る業務を担当しています。

## 女性から見て東北防衛局はどんな職場ですか？

防衛省特有の男性が多いという観点からすれば、他省庁と比べ華やかさは多少欠けますが、働きやすさで遜色はないと思います。男性に勝るとも劣らない活躍をされている方も多くいますし、各課の女性職員が精力的に仕事に取り組んでいる姿には、私も頑張ろうと奮起させられます。

久々に東北防衛局へ戻ってきて特に感じるのですが、若手の女性は優秀で礼儀正しく、勉強熱心な方ばかり。今後のいっそうの女性の活躍を予見させ、これからがとても楽しみです。

## 将来の目標などはありますか？

近年、防衛省・自衛隊のあり方は大きく変わりました。今なお変わっていく防衛省を取り巻く情勢に柔軟に対応できるよう、私は常に成長し続けることを目標としています。

入省以来、異動の度にまったく違う仕事に就くことが多かったのですが、様々な仕事を経験することは自分の未熟さに気づき、今後の課題を見つける良い機会となっています。常にどんな業務にも積極的に取り組み、防衛省職員として必要な知見を養っていきたいです。

## 防衛省に入ろうと思ったきっかけは？

私は、英語を生かした仕事に携わりたいと学生時代から思っていたところ、大学の教授に防衛省を勧められたことが入省のきっかけです。当初は国防や安全保障に対して漠然としたイメージしか持っていませんでしたが、パンフレット等で防衛省における多種多様な業務内容を勉強するうちに、自分の語学力を生かしつつ、様々な専門分野の方々と共に仕事をして視野を広めたいと思いました。

## これまでのキャリアと、その中で印象に残った仕事は？

平成21年度に中国四国防衛局(広島市)に採用され、平成23年度に本省地方協力局沖縄調整官付に異動しました。その後、同局地方調整課にて、米軍再編関連の業務に携わりました。米軍再編の一環である、普天間飛行場から岩国飛行場へのKC-130 空中給油機の全機移駐に当たっては、岩国飛行場に新たに完成した施設を移駐後速やかに使用するための手続に追われる日々でした。無事に移駐が完了し、格納庫から顔をのぞかせるKC-130の写真を見た時は、大変感慨深いものがありました。平成27年度に東北防衛局三沢防衛事務所に異動してからは、主として、米軍人等との事故等の被害者に対する賠償業務にまい進する毎日です。



## 防衛省に就職しようとしている女性に一言どうぞ

「防衛省」というと、男性職員ばかりの男社会を想像する方も少ないと思います。ただ、実際には多くの女性職員が活躍しており、私自身も、周囲に見守られながら、自分の意見を臆せず主張するなど、やりがいをもって業務に従事しています。性別にとらわれず活躍できる防衛省で、自身のスキルを生かしてみませんか。

# 局内サークル イベント

東北防衛局では、  
有志による各種サークル活動やイベントが大変盛んです。  
入省後は是非、ご検討ください。



ランニングクラブ

## WINDS

毎週水曜昼休み、  
榴岡公園でトレーニング  
しています！

土曜の夜は  
フットサルで決まり！



## futsal

フットサルサークル

このほかにも年間を通して、イベントが目白押し！  
業務上関わりの少ない先輩や上司と接することの  
できる機会でもあります。



English Club  
**英語会**

毎週木・金曜昼に活動してまーす。  
レベル別コースもあるよ。



不忘山登山

## 夏



いも煮会

## 秋



ボウリング大会

## 冬

## 若手職員による 採用パンフレット作成



— 編集を終えて —

このパンフレットは、採用一年目の若手職員によって作成されています。着任から早い段階で責任ある仕事を担い、やり遂げる経験を積むことを企図したものです。  
今回このような機会をいただき、改めて東北防衛局の魅力を再発見できました。また一つの仕事を仕上げていく上での段取りや過程の大切さを学びました。  
同期との意見がぶつかることもありましたが、それぞれが力を合わせてパンフレットを完成させることができ、同期の絆も深まったように感じます。  
このパンフレットを見てたくさんの人に東北防衛局に興味を持ってもらえれば嬉しいです。

採用一年目職員一同



## 勤務時間・休暇

- 勤務時間 7時間45分
- 休日 土日・祝日
- 休暇 年次休暇 年間 20 日(4.1 付採用職員 15 日)  
(残日数は 20 日を限度として翌年に繰越)  
特別休暇(夏季・冠婚葬祭・育児・年末年始等)

毎週水曜日と金曜日は業務に支障が無い限り、定時に退庁する日となっています。このほかに、フレックスタイム制度や夏期に退庁時間を早めるゆう活も行われています。

## 採用実績(東北防衛局)

区分		H25'	H26'	H27'	H28'	H29'
国家一般職 (大卒程度)	行政	2	1	5	6	8
	建築	3	0	0	0	0
	土木	1	2	1	1	2
	電気・電子・情報	1	1	0	0	0
国家一般職 (高卒程度)	機械	1	1	2	0	0
	事務	1	1	0	1	6
	技術	0	0	0	1	4

※H29'の数字は、採用予定者数(平成 28 年 10 月 21 日現在)。

## 給料・手当

採用時の給与は採用される職務、経験、勤務地等によって異なります。下図は新規卒業者が東北防衛局(仙台市)に勤務した場合の給与例です。

採用 1 年目職員(大卒)  
行政職(一)1 級 25 号俸  
基本給

¥176,700



採用 1 年目職員(高卒)  
行政職(一)1 級 5 号俸  
基本給

¥144,600

- ・ **住居手当**: 賃貸住宅で一定額(12,000 円)を超える家賃を支払っている職員に、額に応じて最高 **27,000 円** 支給。
  - ・ **通勤手当**: 通勤に交通機関や自動車等を使用する職員に対して 1 ヶ月当たり **55,000 円** を最高限度額として支給。
  - ・ **地域手当**: 勤務地によって支給割合が異なり、仙台勤務の場合は俸給と諸手当の合計の **6%** が支給。
- このほかにも超過勤務手当や扶養手当など、各種手当があります。

## 勤務地

東北防衛局管内では以下の 3 カ所に勤務地が所在しています。この 3 拠点の他に防衛省本省や全国各地の地方防衛局等に異動することもあります。



東北防衛局 (仙台第 3 合同庁舎)  
〒983-0842  
宮城県仙台市宮城野区五輪 1-3-15  
TEL (022)297-8209  
FAX (022)295-9220



三沢防衛事務所  
〒033-0012  
青森県三沢市平畑 1-1-31  
TEL (0176)53-3116  
FAX (0176)53-6386



郡山防衛事務所  
〒963-0201  
福島県郡山市大槻町字長右エ門林 1  
TEL (024)961-7681  
FAX (024)961-7682

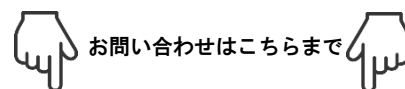


東北防衛局 | 🔍

詳しくは東北防衛局ホームページをご覧ください。



QR コードからもサイトへアクセスできます。



お問い合わせはこちらまで  
東北防衛局総務部総務課人事係  
TEL (022)297-8209 内線 3126

ホームページ <http://www.mod.go.jp/rdb/tohoku/>